

『ロボットビジネス最前線～ビルメンテナンス×次世代ロボットの可能性～』

深刻化する人手不足を背景に、今、最も注目されている『次世代ロボット』に焦点を当て、ビルメンテナンス分野における導入可能性について、現場の裏の裏まで知り抜いた各分野のスペシャリストによるパネルディスカッションを行います。

【登壇講師一部ご紹介】

第21回世界ビルメンテナンス大会 コーディネーター

田中 幸仁(経済産業省)



1977年、山梨県生まれ。早稲田大学教育学部卒業。2002年、経済産業省入省。専門は、『ロボット政策』、『中小・ベンチャー企業支援政策』。現場主義を徹底し、全国各地を飛び回る霞ヶ関では異色の公務員。有識者として、ロボット関連、中小・ベンチャー企業関連の講演、マッチング会、調査事業等の実績多数。第21回世界ビルメンテナンス大会コーディネーター。

<コメント>

『ロボットビジネスの成功の秘訣は?ビルメンテナンス業の将来像は?現場経験豊富な各分野のスペシャリスト達による熱い議論をお楽しみに!!』

三井住友海上火災保険株式会社 公務開発部 課長 ロボットビジネス推進協議会 保険構築WG主査
ロボット革命イニシアティブ協議会コアメンバー 埼玉県ロボットプロジェクト事業化推進アドバイザー
北河 博康

1968年愛知県生まれ。1992年、名古屋大学法学部法律学科卒業。同年、現三井住友海上に入社。名古屋の営業部門を経て、本社部門にて自動車保険の販売戦略、商品・サービス開発に従事。「映像記録型ドライブレコーダーの活用した事故防止」などのヒット施策を連発。2011年、現在の公務開発部に配属となると同時に「ロボットビジネス推進協議会」に参画し、2012年より四期連続で「保険構築WG主査」を務め、2015年からは「ロボット革命イニシアティブ協議会」のコアメンバーに就任。中央省庁・自治体等と連携しながら、次世代ロボット(ビルメンロボットを含む)の開発・普及促進をリードする。ロボット業界とビルメンテナンス業界なら、どの保険会社の社員にも負けない自信あり。

一般社団法人日本トイレ協会運営委員

理事 白倉 正子



「トイレ掃除をカッコイイ仕事にしてみせる!」と志ざして、早や20年。全国でトイレ掃除の修行を敢行。2012年11月2日放送のTBS「マツコの知らない世界」に出演。一般社団法人日本トイレ協会運営委員。2009年に最年少(当時36歳)で就任。メンテナンス研究会幹事。1996年多摩大学卒業。卒論でトイレを取り上げ、卒業直後(22歳)にトイレ専門企画会社「アントイレプランナー」を創業。コラム「メッセージはトイレの中に…」を「月刊ビルクリーニング」にて連載中。夫はトイレ診断士1級。三児の母。1973年生まれ。理念は「トイレから地球革命!」

<コメント>

『「トイレはきれいで当たり前」の時代が到来しました。でもそれを支えているのは現場の清掃員の方たち。世界最高水準のトイレ先進国の名に恥じない「心の通うテクニカルなトイレ掃除」を目指す模索をしたいです。』

中央労働災害防止協会 教育推進部 営業推進センター

営業推進課長 平山 剛



1968年生まれ。1990年に中央労働災害防止協会入職。以来、各企業が行う安全衛生活動を支援し続けて27年。労働者が就業に伴ってケガをしたり病気になるまいよう各企業の各階層の方々に関わっています。労働安全衛生法第69条及び70条の2にもとづく心理相談員、ヘルスケア・トレーナー。同協会の本部(東京)のほか、大阪、広島の拠点にて勤務。

<コメント>

『「ロボット化」の将来的な魅力は、労働力不足の解消や作業効率の改善のみならず、労働者がケガしなくなることにあります。今、あなたのお立場で「仕事すること」と「ケガをすること」はどの程度近いまたは遠い関係性ですか?』